

中国市場に鹿児島 の工芸品を売り込もう！

中国・上海における本県工芸品等の知名度向上、および販路開拓を図るため、2/28(水)3/3(土)の4日間、上海高島屋百貨店有限公司営業四部主管坂口理子さんに県内の工芸品の製作現場の視察や体験、意見交換、商談等を実施し、市場展開の可能性について指導・助言をいただきました。

1 上海高島屋の取り組み

「日本の良質な商品と新たなライフスタイル」を提案。

上海高島屋は、2013年に開業した高島屋グループの中国国内唯一の店舗であり、お客様に日本の良質な商品販売するとともに、店内の施設が一体となって日本の文化やライフスタイルを提案することがコンセプトの大型百貨店です。地下1階から7階までの店内では、多岐にわたる商品を扱っているほか、レストラン施設や娯楽施設も備えられています。

上海高島屋の5階の「日本館」では約1,000㎡の売

り場に日本の優れた商品約8,000アイテムが展示・販売されています。上海市内には多くのセレクトショップ、骨董品売り場などがありますが、日本の伝統工芸品を一堂に展示しているのはこの「日本館」が唯一の施設です。中国においても、日本の工芸品は品質が良く、職人の技術力が高く評価されていることから、日本館には個人や企業の贈答用に対応できる商品を多く取り揃えています。

「職人さんの 熱い想い」を 伝えることが大切

お客様は、95%が現地中国人(台湾、香港を含む)で、日本への旅行経験のある方々が多いのが特徴です。日本で本物を体験して良さを知った方々は、本物を求めて来店されますが、展示しているだけでは伝統工芸品の良さは伝わりません。

そこで、弊社では売り場に販売員を配置して、1点1点

心を込めて作られた作品の良さをお客様に伝えられるように、商品の特徴や歴史、背景などの細やかな説明まで対応できる体制を整えています。

また、取扱商品は「幅と奥行き(商品数、カテゴリー、価格帯)」をモットーにお客様のニーズに合わせて、安価な商品(2000円代)から高額

商品(企業用ギフトに対応可能な金額)まで取り揃え、商品選定は、バイヤーが全国各地で製造現場を視察し買付けています。特に、初めて販売する商品は、実際に色合いやサイズ等まで確認し納得したものを取扱うようにしています。



出展者との商談風景



焼酎蔵の視察

〓売り場と産地が 一体となった 取り組みを〓

売れ筋商品は、2年ほど前から南部鉄瓶が非常に人気で、現在は少し落ち着いてきましたが、引き続き好調です。また、2016年12月から、海外で初めて常設展示販売を開始した博多織、博多人形も好評を得ています。その他、碁盤と碁石、江戸切子なども人気の逸品です。

ただ、上海に限らず、中国では売れ筋商品の移り変わりが

早く予測しにくいいため、常に、消費者の声を聞き取りニーズにあつた商品提案に努めています。

上海の最新のニーズを産地にフィードバックして市場性の高い商品づくりと、職人さんの熱い志を的確に伝えることで新たな市場開拓ができると思っています。産地と売場が一体となった取り組みが大切です。

〓生活文化である 工芸品を通じて 鹿児島の魅力を 世界に……〓

鹿児島県の工芸品は、全体的に伝統的な技法や工程を大切に受け継ぎ製作している事に感銘を受けました。全国各地の工芸品を見させて頂いています。鹿児島は薩摩の文化が色濃く残っており、例えば焼き物なども他県とは違いとても独特です。大島紬や竹、錫製品なども日常の生活

に使われており、〓用と美〓を兼ね備えた工芸品です。

このような特徴は鹿児島の強みであり、中国でも展開しやすいのではないかと思います。また、このような鹿児島の伝統工芸品の特色を上海の消費者へ伝えていければと感じました。現在、鹿児島の工芸品は取扱っていませんでしたが、これを契機に中国をはじめ世界への市場展開のお役に

立てればと思います。是非、一緒に取り組みましょう。

2 作り手の反響

「商品のストーリーやこだわりの製法を高く評価していた。ただ自信がついた。上海の文化やニーズを知ることが出来たので商品製作の参考になった。提案型のモノづくりの必要性を学んだ。」との声がある。

る、一方、輸出に係る事務や手続きへの不安も感じられました。今回は、初めて鹿児島を訪問された坂口さんに鹿児島の工芸品の特徴や品質の高さ、一品一品にかける想いを感じていただくとともに、作り手と交流する貴重な場を設けることができ、上海高島屋「日本館」が新たな鹿児島の工芸品を発信する拠点となる足がかりを築きました。



川辺仏壇工芸会館の視察



美山での陶芸体験